

市議会臨時会

平成24年第3回常陸大宮市議会臨時会が、10月12日に開会され、次の議案が審議され、可決されました。

○文化センター災害復旧工事請負契約の変更契約の締結について

事故多発地点に交通安全のぼり旗を設置

9月27日、秋の全国交通安全運動の街頭キャンペーン終了後に、国道293号線の茨城みどり農業協同組合緒川給油所からY字路区間（物産センターかざぐるま周辺）にのぼり旗100本を設置しました。



▲色とりどりののぼり旗で、ドライバーの方へ交通安全の呼びかけ

この区間は、事故多発区間であるため、交通安全事故防止の意識付けと交通安全の普及・浸透を図るために、交通安全協会緒川支部のメンバーが、駐在所の協力を得て設置しました。

特にこれからの夕暮れ時、ドライバーの方は早めにライトを点灯し、歩行者も反射材の着用を心がけるなど、交通事故防止に努めましょう。

正月時代劇のロケが市内で行われました

先日、NHK正月時代劇「御鑓拝借〜酔いどれ小籾次留書〜」の撮影が、御前山地域那珂珂川大橋下流の河川敷で行われ、正田健一さん、茂垣徳一さんが舟を提供し、市内からエキストラ4人が出演する等、市民の方の協力のもと順調に撮影が進みました。

この番組は、平成25年元日に放送予定です。



茨城みどり農業協同組合から奥久慈の恵「うまかつぺ」寄贈

9月28日、市内の小中学校の給食の一日分にあたる精米400キロ「奥久慈の恵 うまかつぺ」が、茨城みどり農業協同組合から市へ寄贈されました。

このお米は、常陸大宮市と大子町で生産されたもので、地元の農産物の良さを知り、食の安全と安心そして環境について考える機会になればとの願いを込めて寄贈されたものです。

寄贈されたお米は、10月9日に大宮地域の小中学校の給食で、19日に山方・美和・緒川・御前山地域の小中学校の給食で提供され、児童・生徒たちは、地元のふつくらおいしいご飯を味わいました。



▲左から三次市長、柏盛幸組長

第4回まちづくり ネットワーク会議開催

9月30日、美和地域の名所等を巡り、市内の魅力を再発見するとともに知識を深めることを目的として、第4回常陸大宮市まちづくりネットワーク会議が30人の参加のもと開催されました。

午前はピジョン美和の森すくすくハウスで美和木材協同組合の方が、ピジョン美和の森の活動内容や同協同組合で取り組んでいるモリ券について説明をし、活発な質問や意見が飛び交い、有意義な時間となりました。

その後、みわ★ふるさと館北斗星に立ち寄り、多くのお客さんでにぎわう盛況ぶりに、参加者たちは改めて人気の高さを感じていました。

午後は尺丈山に登り、山頂からの雄大な景色を眺めながら昼食を取り、参加者同士で交流を図りました。和やかな雰囲気のまま、午後の会議が始まり、尺丈山「百樹の森」森づくりボランティア協議会の方が活動内容について説明をしてくださいました。また、茨城大学の先生による地理学から見た美和地域独特の地形について小講義が開講され、普段聞くことのできない専門的な話を聞くことができました。

また、団体の紹介と年間の活動計



▲尺丈山頂上の展望台にて

画の発表や今後の活動についての協議をし、まちづくりネットワークとしての新しい活動が始まりそうです。

下山した後は、しいたけ園を見学し、しいたけの栽培方法や原発の風評被害を払拭すべく導入された原木の除染機の説明を受けました。

台風の接近で、天候を心配しながら、急ぎ足で美和地域を巡る一日でしたが、市内の新たな魅力を知った参加者も多く、貴重な一日となったようです。



オカリナの音色を楽しんで

10月6日、おがわふれあいの森内の「オカリナの森」の野外音楽堂で、宗次郎氏による音楽会が開かれました。

開演前に激しい雨が降り始め、野外での開催が危ぶまれましたが、開演時間を遅らせて開催されました。

今回は、「故郷ふるさと」、「七つの子」、「赤い靴」、「アメイジング・グレイス」など、なじみのある曲を中心に全13曲が演奏され、訪れた130人の方は、開演前の悪天候を忘れ、澄んだ音色に耳を傾けていました。



◀雨上がりの森にオカリナの澄んだ音色が響き渡りました

まるでカボチャ？ 不思議な形のサツマイモができました

千田の蓮田国男さん宅の畑で珍しい形のサツマイモが収穫されました。

サツマイモを何本か合わせたような形をしていて、その様子はまるで赤い色をしたカボチャのよう。紅あずまと安納いもが、それぞれ同じような形で出てきました。

蓮田さんによると、「収穫したサツマイモでこんな形をしたものは、これだけ」と話してくれました。また、この辺りで安納いもの栽培は難しいそうです。

珍しい形をした季節の収穫物に心が和むできごとでした。

▼左が紅あずま（重さ1080g）
右が安納いも（重さ960g）



▲奥様の節子さん



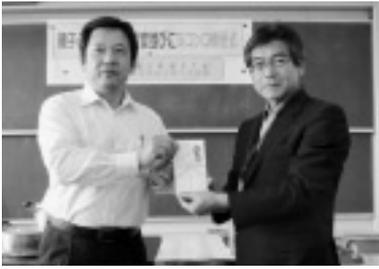
最新のガスコンロが
寄贈されました

10月12日、大宮小学校5年生の親子と茨城県高圧ガス保安協会大宮大子支部による、親子ふれあい料理教室とガスコンロ贈呈式が同校家庭教室で開催されました。

これは、同協会が推進している事業で、LPガスの安全な使用方法やLPガスを生かした調理方法を学ぶとともに、最新のガスコンロに触れることで、事故の未然防止を図ることを目的に実施されました。

飯田正博協会支部長より蓮見信之大宮小学校長にガスコンロ10台の目録が手渡されました。

その後、柴田朱里先生（聖愛保育園）を講師に迎え、寄贈されたガスコンロを使用して料理教室が行われました。参加した親子は興味深く機器を操作し、できあがった料理をおいしそうに試食していました。



▲左から飯田正博協会支部長、蓮見信之大宮小学校長

花カフェでもてなし

10月13日、茨城大学の学生たちが企画した地域交流イベント「花カフェ」が、常陸大宮公民館塩田分館で開催され、地元や市内から多くの方が来場してにぎわいました。公民館前は季節の花を植えたプランター30個が飾られ、テーブルを並べて、一日カフェがオープン。周辺の道沿いに学生たちが植えた様々な品種のコスモスやケイトウも見頃でした。学生たちは、地元塩田のそば粉を使って試作を重ねた「そば粉のピザ」や手作りのケーキ、コーヒー、お茶

などで地域の方をもてなし、茨城大学落語研究会の学生たちによる落語の公演、病院職員のグループ「フロイデスターズ」が指導する健康体操も好評でした。



今年のB級グルメは？

10月14日、常陸大宮ショッピングセンター・ピサー口駐車場を会場に常陸大宮ふるさとB級グルメ選手権が開かれ、今年は昨年より6団体増えて、30団体が出店しました。

出店団体の他に、「宇都宮餃子」や「厚木シロコロ・ホルモン」、そして昨年グランプリに輝いた「大宮チキンバンバン」がゲスト出演し、各店とも開始前から長蛇の列を作りました。

来場者が投じた割り箸の数で審査され、今年の結果は次のとおりとなりました。

- グランプリ 「常陸大宮手打ちけんちんうどん」
（まるしんドライブイン）
2位 「大宮旨トロもつ煮込み」（割烹せきね）
3位 「大宮鶏から南蛮棒」（いせき家）



御前山ビオトープで自然を満喫

10月16日、御前山ビオトープで御前山小学校5年生と御前山中学校1年生を対象に、自然観察会や米の脱穀が行われました。

千歯こきや足踏み脱穀機、唐箕など昔ながらの農具を使つての作業となり、児童たちは初めて目にする、昔の方の知恵と工夫に興味津々の様子でした。

また自然観察会では、会場周辺のイヌシヨウマやアサザ、フタバアオイなど、希少動植物について説明を受け、参加した生徒たちは熱心に聞き入っていました。

